

ポーランド国内治安統計（２０２６年第２四半期）

令和８年７月１７日

在ポーランド日本国大使館

１．治安統計

国家警察本部の情報によると、２０２６年第２四半期（４月～６月）の総犯罪認知件数は２０万８，７３８件となった。

前期（２０２６年第１四半期）比では、総犯罪認知件数が１５％**増**となった。例年、第２四半期は前期比でほぼ全ての犯罪類型で増加する傾向が見られる。

前年同期（２０２５年第２四半期）比では１１．３％**減**となり、全ての犯罪類型で減少が見られた。

	２０２５年 第２四半期		２０２５年 第３四半期		２０２５年 第４四半期		２０２６年 第１四半期		２０２６年 第２四半期		
	件数	前年同期 増減率	件数	前年同期 増減率	件数	前年同期 増減率	件数	前年同期 増減率	件数	前期比	前年同期 増減率
総認知件数	235,388	4.1%	147,892	5.3%	190,982	0.1%	181,359	-17.1%	208,738	115.1%	-11.3%
殺人	142	-6.6%	99	-8.3%	132	2.3%	104	-19.4%	117	112.5%	-17.6%
暴行	901	2.4%	448	-12.7%	608	-20.1%	502	-11.9%	515	102.6%	-42.8%
強制性交	324	-6.6%	231	13.8%	320	0.6%	235	12.4%	305	129.8%	-5.9%
強盗	1,383	-0.4%	600	-24.1%	780	-18.3%	859	-8.1%	864	100.6%	-37.5%
窃盗	23,825	-6.9%	17,864	-11.4%	21,259	-17.0%	18,531	-5.6%	20,880	112.7%	-12.4%
車両窃盗	1,361	-9.7%	1,094	-13.2%	1,938	-3.8%	648	-24.7%	905	139.7%	-33.5%
侵入盗	17,677	5.0%	8,700	-16.1%	9,751	-21.1%	16,150	-7.3%	11,907	73.7%	-32.6%
薬物犯罪	22,091	-3.7%	13,867	0.1%	16,222	4.1%	21,699	12.9%	18,814	86.7%	-14.8%

（国家警察本部提供の統計を基に作成）

２．邦人被害発生状況（当館に報告のあった事案）

- ヴロツワフ市内のホテルに滞在中、部屋に置いた荷物がなくなっていた。
- ワルシャワ市内の市場で貴重品が入ったカバンを盗難された。
- クラクフ市内を観光中に財布を盗難された。

３．日系企業の安全に関する諸問題等

特段の問題は確認されず。

４．テロ関連事案

- ４月２日、ポーランド公安庁（ABW）は、３月２０日にチェコ・パルドゥビツェにおいて発生したテロ事件に関連してポーランド人２人を逮捕した旨発表した。ABWは、本件は、多数の人々を脅迫し、チェコ当局にイスラエル軍向けの

ドローン生産を中止させることを目的としたテロ行為であるとしている。また、ABWは、4月第一週の週末、ポーランド西部のジェロナ・グラにおいて、同事件の実行を幫助・教唆した罪により、チェコから帰国した直後のポーランド人男性を逮捕したと報じられている。

5. その他参考事案

- 4月下旬、ワルシャワ市内のルブリン合同広場（Plac Unii Lubelskiej）付近を走行するトラム内において、37歳のアメリカ人男性が暴行を受けた。同男性は頭部を2回殴打され意識を失って床に倒れ、肩に重傷を負った。警察は危害を加えた人物の顔写真を公開し、6月19日に31歳男性を逮捕した。被疑者は、被害者がトラム内で談笑していたことが気に障り暴行を加えたと供述した。また同被疑者には麻薬所持、窃盗、住居侵入等の多数の前科があることが判明した。
- 5月9日、ポーランド公安庁（ABW）は、2024年から2025年にかけての活動報告書を公表した。同報告書では、ロシア、ベラルーシ及び中国の情報機関の活動が活発化していると指摘し、過去2年間で69件のスパイ関連事件を捜査し、うち48件が2025年中に発生したと明らかにした。また、ポーランドにおけるイスラム過激主義に基づくテロの脅威は他の欧州各国と比較して低いものの、外国人移民の過激化事例が確認されている。サイバー攻撃については、データ窃取を目的とした事案が増加しているほか、重要インフラ施設等の産業用制御システムを標的とした攻撃が増加しており、ロシア及びベラルーシを背景とするAPTグループ（国家を背景とするサイバー攻撃グループ）の関与が指摘されている。
- 5月26日、出張でワルシャワを訪れていた38歳の男性が、マゾヴィエツカ通り（ul. Mazowiecka）に所在するクラブでの飲酒後、近づいてきた男に「タクシーを呼ぶのを手伝う。」と声を掛けられ、車で拉致される事件が発生した。被疑者はワルシャワ市内を車で走行しつつ、被害者に暴行を加え、指定口座への送金を強要するなどしたほか、被害者から奪い取った携帯電話から被害者の妻に対し、カジノでの借金返済のために数千ズロチを送金するよう求めるメッセージを送信するなどした。被疑者は腕時計と携帯電話を奪い取った後に被害者を解放した。捜査の結果、警察は5月28日に41歳の被疑者を逮捕した。同被疑者は過去の窃盗事件により禁固8か月の刑が確定し、指名手配中であつたことが明らかになっている。

（次頁に参考情報として中・長期的な治安統計を掲載）

【参考：過去5年の犯罪件数の推移】

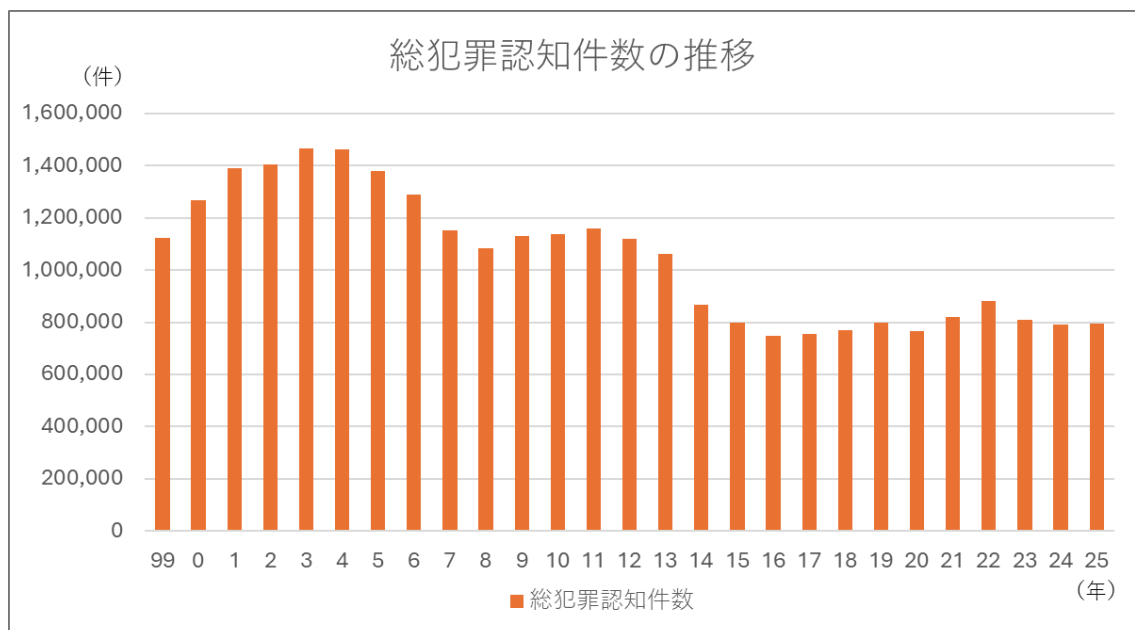
- 総犯罪認知件数は、2022年から2023年にかけて8.2%減少したが、その後大きな増減は見られない。
- 強盗、窃盗、車両窃盗及び侵入盗は、近年減少傾向にある。

	2021年		2022年		2023年		2024年		2025年	
	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比
総認知件数	880,704	-0.03%	880,931	0.03%	809,133	-8.2%	790,065	-2.4%	793,157	0.4%
殺人	623	23.1%	506	-18.8%	565	11.7%	502	-11.2%	502	—
暴行	2,482	-14.1%	2,888	16.4%	2,842	-1.6%	2,700	-5.0%	2,527	-6.4%
強制わいせつ	1,161	4.8%	1,108	-4.6%	1,111	0.3%	1,102	-0.8%	1,084	-1.6%
強盗	4,646	-3.7%	4,823	3.8%	4,647	-3.6%	4,246	-8.6%	3,698	-12.9%
窃盗	116,691	-5.6%	123,589	5.9%	119,701	-3.1%	92,220	-23.0%	82,570	-10.5%
車両窃盗	8,056	8.5%	7,423	-7.9%	6,375	-14.1%	5,734	-10.1%	5,253	-8.4%
侵入盗	72,324	3.2%	70,069	-3.1%	64,347	-8.2%	57,133	-11.2%	53,546	-6.3%
薬物関係	73,157	4.5%	69,991	-4.3%	67,251	-3.9%	71,081	5.7%	70,928	-0.2%

(国家警察本部提供の統計を基に作成)

【参考：長期的な犯罪認知件数の推移】

- 2000年代初めに一時的に治安が悪化したが、警察による取締強化や警察能力の向上によって治安が改善し、近年の治安状況は安定している。



(国家警察本部提供の統計を基に作成)